

シューマンの歌曲の唱法と伴奏法

二 報 Frauen - Liebe und Leben (女の愛と生涯)

長 尾 洋 子

は じ め に

「女の愛と生涯」は「リーダークライス Op 39」につづき「詩人の恋」とともに、1840年、すなわちシューマンの歌曲の年と呼ばれ、クララとの結婚に成功した年に、シャミッソーの詩に作曲されたもので、この曲以前に作られた自然を対象とし、その美しさを卒直に、ロマン的に表現した「リーダークライス Op 39」(1963研究紀要七号)、一人の男性の愛の遍歴から失恋への感情を歌った「詩人の恋」に対し、この曲は、愛に覚め、婚約の喜びから結婚、出産、母としての喜び、そして夫に先だたれた深い悲しみ、と、一人の女性の純愛の生涯を描いたものであり、その細やかな女性心理の描写は、クララへの愛なくしては表現できなかったものであろう。また、クララへのあの情熱的な愛が、結婚という最良の結果を得てこそ生まれたものである。この曲には感情的な激した表現は決してなく、内省的な、深い、静かな、夢想的な表現により、誠に巧妙に女性の愛を歌っている。可憐な乙女から、母として全き女性に成長する過程の女性の心理を、言葉のごとく音で表現し得たのは、シューマン以外にはないであろう。「リーダークライス Op 39」にも増して伴奏部は伴奏のみの機能に終らず、歌の旋律と溶けこみ、一体となって豊かに感情を歌っている。シューマンの歌曲は、数回歌ってすぐ真の美しさが解かるものは少なく、じっくりと研究することによって、その秘められた内省的な美しさを発見し、その虜となるのであって、それだけに長期間にわたる深い研究が必要となってくる。「リーダークライス Op 39」につづいて、ここにその一端を書き記す。

1. Seit ich ihn gesehen (かの君をみてより)

わたしは、彼を見た時から、盲になった様な気がする。

わたしの眼の向うところに、わたしは彼のみを見る。

寝ても覚めても、その姿は私の前にただよい、深い闇の中から、そこだけが明るく浮びあがる。

わたしのまわりのものは、すべて光も色も失せて、

もう姉妹たちと、遊び仲間に入ろうともせず、むしろ、静かな部屋にこもって、ひっそりと泣いていた。

わたしは、彼を見た時から、盲になった様な気がする。

始めて心ひかれる男性に出会い、恋の虜となった乙女は、恋人の他はもう何も目に入らず、今まで共に遊んできた姉妹もつまらぬ友の様な気さえして、ただ一人になって泣き、夢にふけていたい。という誰でもが経験する初恋の少女の恥らい、戸惑い、ためらいを含んだ純かな恋心を歌っている。Bdur, $\frac{3}{4}$ 拍子, Larghetto (適当にゆったりとおそく) 前奏に続く伴奏の短かいスタカート(8分音符)は、少女のためらいを表すべくため息のごとく少女の動揺した心を表現しなければならない。短かいため息のごとき前奏に続いて、歌も少女の焦燥感を表す

ごとく短かいフレーズに中絶され、休符が絶えず入ってくる。“ihn”はアタックぎみにはっきりと歌う。“gesehen”は正確に8分音符の長さだけ、長くならない様に気をつけること。その後の伴奏の音はアタックではっきりとひき、“glaub”も明確に発音しはっきり入る。④小節の（以後小節の言葉は省く）シンユーペーションは正確にひく。⑤で始めのSeitichと同じ型が現れるが、最初のpに対してmpに歌う。“hin”にはアクセントを、“nur blikke”の後の伴奏は、はっきりと入れ、“ihn allein”は少しrit.してはっきりと。“wie im”からは歌、伴奏共にcresc. “Traume”でdecresc. “schweit sein”でもう一度cresc. し、⑬まで1節のみであるから、闇の中に彼の姿を追う高ぶる気持を表現しなければならない。“mirvor”から後の伴奏の右手の旋律は、はっきり歌わすこと。間奏はppで1節の最後の旋律を繰り返すことにより、高ぶる気持を静めている。8分音符の伴奏に入る前の16分音符は正しく、C音の複符点音と共に正確なリズムであること。“Sonst ist licht”は「光も色も失せて」であるから、最初の旋律よりは暗く歌い出し、“alles”は、伴奏も共にアクセントをつけ、⑳の伴奏のシンユーペーションもはっきりとひく。㉑の“gehr”は、はっきり歌い少しrit.して、“mehr”は4分音符の長さ一っぱいに歌う。㉒からだんだんcresc. し、“seit ich ihn”までずっとcresc. で㉓で少しdecresc.し、“blind”は、柔らかいがはっきりと歌い、最後まで静かに歌いきる。後奏はpで最初の主題をもう一度繰返し、乙女の動揺する心を表現する。

2. Er, der Herrlichste Von allen (君こそすべての人)

誰よりもまさって 何とやさしく 何と善良なあの人。
 やさしい唇 澄んだ瞳 明るい心と賢い気性。
 青い大空の中で 明かるく華やかに 輝く星のように
 わたしの心の空で かの君は 明るく華やかに 気高く遠く。
 あなたの道を お進み下さい わたしはあなたの光を見守り
 つつましやかに その光を仰いでいるとしあわせなのに 悲しくなります。
 ひたすら あなたのしあわせのみに捧げた
 わたしの静かな祈りは お聞きにならないで
 輝くみ空の星は 私の様なやさしい乙女のことを 知るべきではありません。
 すべての女性の中で 最もすばらしい人が
 あなたに選ばれて しあわせになるべきです
 そして わたしは その気高い方を 千万度も祝福しましょう
 そして わたしは それを喜び また泣くでしょう。
 たとえ わたしの心臓が破れても わたしは しあわせです
 おお 心臓がなんでしょう そんなことはかまわない。
 誰よりもまさって 何とやさしく 何と善良なあの人
 やさしい唇 澄んだ瞳 明るい心 賢い気性 何とやさしく 何と善良なあの人。

1曲の乙女らしい胸さわぎから、2曲目は、あきらめを潜めたひたむきな愛の告白である。乙女は恋人を最高の徳と美をもってたたえている。彼は世の中のすべての男性の中で最もすばらしい人であり、それは大空に輝く星のごとくに立派で、私の様な女には、とても手のとどかない遠い存在の人なのだ。私は、ただ、つましやかに彼の輝やかさを眺め、彼の幸福を祈っていることを知らせてはならない。すべての女性の中で、最もすばらしい人が彼に選ばれ、私はそれを、はりきけんばかりの気持を抱いて祝福するであろう。と、この世で最もすばらし

い彼に、あきらめを潜めたひたむきな献身の愛の喜びを訴えている。Esdur 4/4拍子, Innig lebhaft (心をこめて, 明るく) 胸のときめきを伝える様な和音の連打の伴奏にのって, 旋律は明るく興奮をもって流れ, 間奏には, 最初の明るいテーマが度々でてくる。1曲のためらいがちなきめきではなく, 自分の愛に確心を持った確固たる気持で歌わなければならない。前奏はあまり強くなくメゾスタカートで無表情に。最初の“Er”はかなりはっきりと歌い, 随所にでてくる符点8分音符16分音符のリズムをきれいに正確に歌うこと。“allen”の“al”は上行した旋律をうけとめてはっきりと。④の装飾音は, 丁寧にきれいに, 相当の練習を要する。“Hnlde Lippen Klares Auge”は確心に満ちた敢然とした態度で歌う。⑧はcresc. してそのままの気持で“Mut”を2拍歌いきる。この後の間奏は明るく, はっきりとひくこと。⑫の16分音符は正確に短かく, ⑭の伴奏に遅れてでてくる符点8分音符16分音符のリズムの型をきれいに, はっきりと。“hellund”からだんだん cresc. “und fern”までそのままおとさない。次の間奏も明るくはっきりと。⑯はあっさりとして歌い, “Nur in”は1つずつ丁寧に。⑳はrit. して少し暗く。“sein”もテンポをおとしたままAs音からB音にだんだん cresc. ブレスの後, ㉑でもとのテンポにかえる。“ho her stern”でブレスしだんだん cresc. “Ket”でdecresc. し, ㉗の4つの音はテヌート気味に1つずつアクセントをおく。㉘の伴奏のDeS音C音は, 重みを持ってはっきりと。“deine mahl”はさらにもう一度 cresc. そのあとブレスして, そのまま㉙に入り, ㉚の16分音符8分音符は丁寧に一自分に云い聞かせる様に歌う。㉜のシンジュペーションに気をつけ, ㉝は暗くrit.する。その後の伴奏は, すぐa tempoし, はりさけんばかりの気持を明るく, はっきりと弾き, 三度転調して始めのテーマに返り, 激情的に夢見ることごとく入っていく。㉞はrit. して, 1つずつはっきりと, 内省的な気持で深く歌いきる。後奏はa tempo し, うっとりとして心をこめて温くひく。

3. Ich Kann's nicht fassen, nicht glau ben (われは知らず)

わたしは わからない わたしは 信じられない 夢にだまされているのか
 どうして あの人が わたしの様なあわれな女を選び
 高め しあわせにして下さったのか。
 あの人は こうおっしゃった様です 「私は永久にあなたのものです」と
 私はいつまでも 夢見心地でいます そんなことは ありえないことです。
 ああ 夢の中で死なせて下さい あの人の胸に抱かれ揺られながら
 とめどない喜びの涙の中に 幸福の死を持たらして下さい。
 わたしは わからない わたしは信じられない 夢にだまされているのか
 どうしてあの人が わたしの様なあわれな女を選び
 高め しあわせにして下さったのか。
 わたしは わからない わたしは信じられない 夢にだまされているのか。

始めて思いもかけず手の届かぬ人と思った人から愛を打ち明けられ, 夢ならばそのまま抱かれ死にたいと思い, 喜びと驚きの交錯した落着きのない感情を, 素朴な旋律と伴奏によって歌っている。Cmoll, 3/8拍子, Mit Leidenschaft (熱情的に), fのスタカートぎみな速い伴奏は, 激しく半ばうろたえた女心を表現することとはっきりと, 歌も自分の定まらない気持をfで歌い出す。一人言の如くテンポをおとさないで⑭まで一気に歌い, ⑮で少しrit.する。⑰からは恋人の甘い言葉を思い出すごとくゆっくりと, ㉒㉓はかみしめるごとく夢見心地でrit.する。㉕から始めの速さに返って, ㉗㉘はそのままのテンポでcresc. し, 興奮して2回めはrit.

「そんなことは決してない！」と激情的に歌い切る。休符の●は必ず守り、“O lass im”は激して強く“gewieget”から甘く、柔らかに④から *cresc.* して④⑥⑦は *f* で1つづつはっきり⑤⑨はゆっくり神へ懇願するごとく感情をこめて。③②の伴奏から *a tempo* し *f* で、歌は *p* で落着きなく歌う。⑦は *rit.* する。間奏はテンポをおとさず高音を美しく、*As* 音は心をこめてはっきりと。歌に入って *rit.* し、甘く夢見る様に一音一音レガートに *p* でゆっくりと歌う。後奏は明るく *dur* に返る。



4. Du Ring an meinem Finger (我が指に光る指輪よ)

わたしの指に光る指輪よ かわいい金の指輪よ
 わたしは 心から口づけし わたしの胸に抱きしめる
 わたしは 美しくのどかな幼き日の夢を見つけて
 はてしない荒野に さびしく ひとりさまよっていた
 わたしの指に光る指輪よ その時おまえは教えてくれました
 わたしの眼を開かせ この世の限りなく深い値打ちを知らしてくれた
 わたしは あの人の身を捧げ あの人のために生き
 あの人の輝きで わたしを浄めたい
 わたしの指に光る指輪よ かわいい金の指輪よ
 わたしは 心から口づけし わたしの胸に抱きしめる

指に光る婚約の指輪を唇や胸に押し当てて、自分はもう子供ではない、あの人の妻として自分も価値あるものにしたい、彼にすべてを捧げ仕えることがわたしのしあわせなのだ、と語る。3曲の様に落着きのない動揺した気持ではなく、指輪によせて幸せをかみしめつつ自信を持って恋人への献心を歌う。*Esdur*, 4/4拍子, *Innig* (こころをこめて) 前奏がないので、3曲目の後奏から幸せをかみしめる様に自分に云い聞かせるごとく、あまり激情的にならないで、ほんのりと歌う。伴奏も中間部の数小節以外は、旋律と同じなのでよく歌わせることが大切である。“*Ringelein*”で少し<>, *lein*の2分音符は充分その長さを保つ。*an das*は少し *rit.* し、⑩は<>で1音づつ丁寧に *rit.* して *Es* 音から *B* 音にレガートに歌う。“*Du Ring*”の繰返しは少し *rit.* して②③から少しせきこんで速く、②③を山に *cresc.* するが、あまり激情に逸らない様におさえつつ③④で *rit.* して気持を治め、始めの旋律に返って“*Du Ring*”は温かくゆったりと入り、“*Ringelein*”で<>。“*Lippen*”の *Ar* 音から *Es* 音はきれいにつなぎ、ほのぼのと感情をこめて歌い終る。後奏も旋律を温かく歌わせる。

5. Helft mir ihr Schwestern (妹よ手をかして)

妹よ 私をたすけて 今日のしあわせなわたしのために 親切に わたしを飾って
 美しく咲いたミルテの花を わたしの額につけてちょうだい。
 わたしは喜びに満ちたりて 恋しいあの人の胸に抱かれたとき
 あの人は この日をじりじりと待ちこがれ、この日を 指折り数えていました
 妹よ わたしのばかばかしい心配を追い払うのを助けてちょうだい
 よろこびの泉であるあの人を 澄んだ瞳で迎えることができるように。
 愛する人よ あなたはわたしの前に現れ、太陽のような光を与えて下さいませ
 うやうやしく つつましく あなたの前に ぬかづかせて下さい。
 妹よ あの人の花をまき ばらのつぼみをさしあげて
 妹よ でもわたしは悲しく お別れをいいます あなた方から 喜んで別れながら。

いよいよ花嫁となる婚礼の日、晴れの衣裳の気付を妹達に手伝ってもらいながら、押さえ切れない喜びと、妹たちとの悲しい別離が交錯し、未知の生活への不安と期待と喜びを歌っている。B dur, 4/4拍子, Ziemlich schnell (かなり速く), 伴奏は同じ音型が繰り返され、あわただしい中に湧き上がる喜びと不安との交錯した感情を表現している。決して遅くならない様に追いかけるごとく速く歌わなければならない。最初の  のリズムは正しく歯切れよく弾く。歌は、あわただしい雰囲気伴奏の拍子にのって拍子を正しく、楽しげに、幸福そうに、誇りと興奮を持って歌わなければならない。⑨で cresc. “Myrte zier” で decresc. ⑮でプレスして “Herzen un geduldig” はつづけて歌い、激して cresc. する。“törichte” の “tö” にはアクセントをつけてはっきりと。“klarem” の “kla” “ihn” も同じくはっきりと。㉗からは、㉙に向ってせきこんで cresc. し㉚の装飾音をきれいに歌う。㉛からは前と同じ音型であるから1節づつ cresc. し誇りに満ちて “Herren Mein” を f に歌いきる。“mein” は充分音符の長さだけ長く f のまま保つ。㉜は Ges dur で暗く妹たちへの別れの悲しみを表すべくゆっくり歌い、㉝でもとのテンポに返り自信に満ちたあふれるばかりの幸福感を歌う。後奏は結婚式の行列を思わせる様な行進曲風な旋律を、明るく  のリズムを最後まで p ではっきりと弾くこと。

6. Süsser Freund, dn blickest (いとしい友よ、あなたは見ている)

いとしい友よ あなたはふしぎそうにわたしを見えています
 なぜ わたしが泣いているのか おわかりにならないで、
 私の目に光る、潤いをおびた真珠の様な涙を
 明るくうれしそうに ふるえさせることをお許し下さい。
 わたしの胸は この上なく不安で しかも喜びにみちあふれています
 この気持が言葉で云い表せさえしたら
 さあ こちらへ来て あなたのお顔を 私の胸に埋めて下さい
 お耳の中に わたしの喜びを みんなそっとささやいてあげましょう
 さあ わたしが泣いているわけが おわかりでしょうか
 それを ごらんになってはいけませんね、いとしい人よ
 わたしの胸に 強く 強く抱かれたまま
 あなただけ聞こえるこの鼓動にふれて下さい。
 わたしのベッドのそばに ゆりかごを置く場所があります
 それは わたしのやさしい夢を しずかにかくしてくれるところです。
 朝が来て 夢から覚めると あなたにそっくりの顔が
 そこから わたしにほほえみかけるのです

「いとしい友よ」と手の届かぬ所にいた夫を同じ立場で呼びかけ、恥らいと不安の乙女から、愛に満ちあふれた妻として、未来の母として、不安のかげりもなく、うれし涙を浮かべながら夫を胸に抱きつつ、しあわせを、すべてを語り合い、未来のおさなごを夢みている、満ち足りたしあわせにゆったりと身を委ねた女の姿を歌っている。G dur, 4/4拍子, Lang Sam mit innigem Ausdruck (ゆっくりとまごころをこめた表現で) この歌い出しの旋律は度々出てくるが非常にむづかしく、これをうまくマスターしなければこの曲は美しく歌えない “Süsser” の “Sü” “kannst” の “ka” “wieso” の “wie”, “wüsst” すべて発音によく注意し、pではっきり音をあてて澄んだ頭声で出す。④で < > , ⑦も同様、同じ旋律が1節で4回でてく

るが、いずれも温く落着いて深く真心をこめて歌わなければならない。⑱の“Brust”の後の伴奏は、はっきりと弾き“flüstern alle meine Lust”は rit. してゆっくりかみしめるごとく歌う。間奏は温く心をこめて決して激さず終りの E 音を美しく。中間部は前半にも増して内省的に心深く歌う。そのためには伴奏の和音の連打をメゾスタカートに美しく弾かなければならない。左手に出る旋律も深く心こめて。“nun”に軽いアクセント，“Tränen”の“nen”は幾分長めに充分保って、⑳㉑で＜＞する。間奏からテンポは早くなり、旋律を美しく浮かび上がらせ、㉒から更に acell. して、“fest und fester”は強くはっきりと、ただし表面に激してはならない。また最初の旋律に返って、未来の母を夢見るうっとりとした気持で歌い、前半と同様歌い出しに注意する。㉓は＜＞，“erwacht”の後プレスして“Bildnis mir”から rit. “Bild”の E 音は美しく“nis”の G 音には切れない様レガートに下行する。後奏は温く落着いてアルペジオは Adagio になり“dein Bildnis”はつぶやくごとく、しかしはっきりと歌う。

7. An meinem Herzen, an meiner Brust (わが胸にいだかれ)

わたしの心に わたしの胸に わたしの喜び わたしの楽しみよ
 しあわせは愛 愛はしあわせ わたしはそういい それを打ち消しません
 わたしは 自分を大切にすぎましたが 今はしあわせすぎます
 乳房をふくませ 子供をはぐくみ 愛するもの 母親だけがそれを知っています
 愛とは何か しあわせとは何かということ。
 おお 母のしあわせを知ることのない男性は なんと気の毒でしょう
 かわいい かわいい天使よ おまえはわたしを見 ほほえんでいる。
 わたしの心に わたしの胸に わたしの喜び わたしの楽しみよ。

吾子を膝に抱いた母のみの知ることのできるしあわせ、美しい瞳と笑をうかべた天使の様な吾子、この幸福は男性には計り知ることのできない母親のみのものである。と、こぼれんばかりのしあわせを歌っている。D dur ¾拍子、Fröhlich innig (楽しそうに心をこめて) 伴奏型は前半すべて同型であるが、速くリズムカルに弾かなければならない。その上を歌はいくらか自由に明るくテンポにのって歌う。前奏は指示通り最初の音は f、後の音は p に明るくひく。テンポにのって速く⑮まで歌い、⑯⑰で少し rit. する。⑱から元の速さに返って軽快に。㉒から presto で前より一層速くやや興奮して歌い伴奏もせきこんではっきりと。“an meinem Herzen”の後プレスして次の“an meiner”は一つづつはっきりと rit. してそのままゆっくりしたテンポで感情豊かに歌いきる。後奏は前よりややゆっくり、左手のアルペジオを美しく、右手の旋律は温く終りはなお rit. して終る。

8. Nun hast du mir den ersten Schmerz getan

(はじめて君は我に悩みを与えり)

あなたは わたしに最初の苦しみを与え胸をさしました
 無情な 冷酷なあなたは 死の床についていらっしやいます
 とり残されたわたしは ただ眼の前をうつろに見るだけです
 わたしはあなたを愛し 生きてきました けれど もう生きておれません
 わたしは 心の中に閉じこもり ヴェールをおろします
 そこで あなたとともに 失われたしあわせを抱きましょう
 わたしのすべてだったあなたノ

幸せに包まれ生きてきた女が、夫の死によって大きな悲しみの世界に突き落とされる。何の望みもないうつろな世界に、生きる元気もなくただ過ぎ去った二人の愛の思い出のみを、生きる絆としなくてはならない、人間の最も深い悲しみを歌っている。D moll, 4/4 拍子, Adagio (ゆっくり) 最初の和音は強く悲しい胸をさす様なスフォルツァンド。次の和音も同様暗く重く、その上に歌は動きの少ないレスタテーボ風の旋律を半ば安心して、悲嘆にくれた女の姿をせつせつと訴えなければならない。sfの和音につづけて強くなくはっきりとアクセントをつけて暗く“Nun”に入り、あとにつづく同じ音は、暗く、重く放心したごとく歌い、“der aber”でcresc. し、“traf”にアクセント。伴奏の和音を再びsfに。次の一節は眩くごとく悲しく暗く、“die welt ist”で胸を突き上げるがごとく cresc. して“leer”で暗い強いアクセント。“ist leer”は少しおとすがな強く、この曲中最も大きな深い感動で歌う。⑬は澄んだ声で悲嘆の眩きを、“ich bin nicht”は冷淡に、⑭のG音からD音はボルタメントをつけないでつづける。⑮はpでなお暗く、⑯のcis音3拍は充分のばして-erにレガートに入り、“fält”に少しアクセントをつける。⑳は前節に比し、暖かみをもって思い出すごとく少しゆっくり、“du meine welt”でcresc. し㊦をつける。このあと長い後奏が続くが、決して歌はここで終わったのではなく、無言の歌が後奏と共に続き、後奏の終ると同時に歌も終ると考えねばならぬ。したがって後奏は単なる伴奏でなく、歌と同様表情豊かに無言の歌を弾かなければならない。再び現れた1曲の旋律をAdagioで、暗い悲しみの中から過ぎ去った夫との愛の日々を思い浮べつつ、一筋の光にすがっている女を表すべく、温く、ほのぼのと、心こめて弾かなければならない。歌も同様、愛と幸せと苦しみに包まれた女の生涯を思い、伴奏と共に無言の中に歌わなければならない。この曲は決して激することのない内省的な、ほのぼのとした深い感情に感動することによって、興奮にかられることなく、深くその感情を表現しなければならない。伴奏は決して二次的なものではなく、必ず歌と同等のものであって、二者一体となって一つの歌曲となり得ることを忘れてはならない。